

■アンケート全体をとおして

- 児童アンケートでは、7割近くの児童が学校統合について「心配ではなかった」と回答しているものの、3割強の児童が「心配だった」と回答しています。心配だったと回答した児童の主な意見としては、「どんな友達ができるか」「新しい友達と仲良くできるか」など、人間関係に関する心配が多くを占めていることがわかります。

統合によって人数が増えたことについては、統合前の小学校によってばらつきはあるものの、四校全てにおいて半数以上の児童が「よかった」と回答しており、「学校がにぎやかになった」「(昼休みなどの休み時間に)遊ぶ友達が増えた」と回答した児童がともに7割近くになっています。一方、「人数が少ない方がよかった」と回答した児童が2割近く、「遊ぶことが少なくなった」と回答した児童が1割弱となっています。
- 保護者アンケートでは、学校統合について「良かった」と「どちらともいえない」とがいずれも4割を超えており、学校統合に対する保護者の意見が二分していることがうかがえます。統合前の心配事の有無についても、全体としては「心配なことがあった」と「心配なことはなかった」がほぼ同率で回答がわかれています。

「心配なことがあった」と答えた保護者の割合は、統合前の小学校によって差がみられ、統合前の学校が統合新校の位置とならなかった保護者については、「心配なことがあった」と回答する割合が高くなっています。

いずれの学校においても、統合後の不安については、「心配なことはない」と回答した保護者の割合が増えており、統合前の不安は幾分解消されていることがうかがえますが、「心配なことがある」と回答した保護者も2割以上となっています。

学校統合による変化については、全体の半数以上の保護者が「人数が増えてよかった」と答えており、4割以上の保護者から学校行事が活発化されたという回答が得られました。一方で、「人数が少ない方がよかった」、学校行事が「人数が増えて大変になった」と回答した保護者の割合もそれぞれ15%程度となっています。
- 教員アンケートでは、学校統合について「どちらともいえない」とする回答が全体の約半数を占めており、次に「良かった」と回答する割合が4割を超えて高くなっています。学校統合がもたらす変化については、活気の高まりや児童の人間関係において良い影響があったとする回答が多くみられます。一方、教員の負担については、「どちらともいえない」とする回答が多いものの、開校初年度ということも影響しているためか、「負担が重くなった」と回答する割合が、「負担軽減になった」と回答する割合を僅かに上回っています。
- アンケート全体をとおして見ると、さまざまなご意見ご要望をいただいたなかで、学校統合によって児童数が増えたことを肯定的にとらえる児童・保護者が半数以上を占めており、おおむね理解が得られていると考えられます。今回のアンケートを通じて寄せられた課題や改善事項を受け止め、今後の学校運営に生かしていくとともに、学校の適正配置の取り組みに役立てていきたいと考えています。